浄土真宗本願寺派

沖縄県宗務事務所

龍

はない、

これからが始まりだ」「判決

ハンセン病問題は、

これで終わりで

勤

習

会

佐々木

沖縄県那覇市天久 2-18-2

電 話(098)860-7009

ファックス (098) 860-7469

mail ameku2182@yahoo.co.jp

声があることに驚いている」「一人一

があってもいまだに感染するなどの

2 月 25 日

火

沖縄別院本堂で勤

円だそうですよ」

「食べ物が満足に

先日、 あるご家庭でご法 法 話

食品ロスは年間600万ト ながらの話です。 事を終え、 廃棄コストは2兆 お斎をいただき 「日本の

物の本来あるべき姿がなくなるのを 勿体の字には重々しさ・ 食べられない国がたくさんあるのに、 もったいないことですね」。 したが、 「もったいない」という言葉が出ま もったいない」 と読みます) ったいのことですが この語源をご存知ですか? 「もったいない」 の否定形ですから、 は仏教用語で、 は妥当でな 威厳の意味 「もった

> 意味、 ない」という声がよ 方々から「もったい られていたようです。 ありがたい」という 「私にはもったいない の法座などで参拝の 13 く聞こえてきます。 現代では、 ・不届きといった などでも用い お寺

> > 会において参加者の皆さまに、

首里城再建につ

いての寄付金を募りました。

寄付金の総額は

します

7,

54

1円となりましたことをご報告いた

昨年12月31日

火

に沖縄別院で修行した除夜

『首里城再建寄付金』募金のお礼とご報告

いるこの 教えを聞き、 私の拠り所はここだったと気付かせ わずこぼれ出てくる言葉のようです。 な慈悲に目覚めさせられたとき、 が身の罪に気付き、 感謝の気持ちが伝わってきます。 てもらえた深い喜びの言葉です。 み仏さまに照らされ、 <u>一</u> 日 私の 日を過ごしてまいりたい 我が身を知らされ、 み仏さまの大き 「もったいな ただきなが 生かされて 思

| 担当まで。| 担当まで。| おい合わせ・中流・布教所の行事告知・レポー 申し込みは特区報ート、お寺紹介文

あたたかいご協力、 ありがとうございました。

3月29日(日)午後5時40分~

日曜学校【久米島布教所】

久米島常例法座【久米島布教所】 4月19日(日) 午後7時~

3月後半の行事

日曜学校【久米島布教所】 3月15日(日)午前10時~

(4)

ものです。

5

11

久米島報恩講【久米島布教所】 3月15日(日) 午後7時~ 法話:佐々木龍三師(別院輪番)

第2回沖縄県宗務推進会議【天久礼拝所】 3月17日(火)午後7時~

春季彼岸会 [沖縄別院]

3月20日(金)午前10時~ 法話:佐々木龍三師(別院輪番) 第3回責任役員会・総代会【沖縄別院】 3月20日(金)午後1時~

第1回沖縄特区仏教壮年会連盟理事会【沖縄別院】 3月20日(金)午後4時~

沖縄特区全戦没者追悼法要【沖縄別院】

4月の行事 灌仏会【沖縄別院】

4月12日(日)午前10時~ 法話: 佐々木龍三師(別院輪番)

4月19日(日)午前10時~

天久常例法座【天久礼拝所】 4月26日(日)午前10時~ 講師: 齋藤謙吾 師(別院職員)



実践運動推 進研修会 「ハンセン病と

めましょう」と話しました。

齊藤師は、

同和教育に携わるよう

出身地・熊本の地

願寺衆徒)にご指導いただいていま

を伊波敬

浄

が偏見や差別につながる。

学びを深

修行の

「沖縄特区全戦没者追悼法要」

出勤に向けて、

『佛説阿弥陀経』

巡

後期(昨年10月以降)は、3月29日(日)

前期は正信偈・和讃を練習しました。

式練習会を開催しました。

今年度の

発 行

発行人

等を紹介し、「正しい知識がないこと

へが自分のこととして接してほしい

〒 900-0005

齊藤真師 ンセン病問題と出会って」。 いて、第3回実践運動推進研修会(人 問題)を開催 市民学会事務局次長) 議会事務局長、 九州・沖縄同朋運動推進協 (同和教育振興会常務理事 しました。 ハンセン病 ・マは「ハ

-会場から一斉に

質疑の手が挙がる

迎えしました。 0) が挨拶で、 佐々木龍三所長は開 ハンセン病にかかる訴訟 200

での勝訴後の原告の声から、

1月26日(土)沖縄別院本堂にお 講師に をお をも さつ、 指摘を受けたときに素直に受け止め として持つことが大事。 裁での勝訴判決が国を動かしたいき ることができる。 になった動機や、 く可能性につながるのではない

「私たち自身は差別する可能性

いました。

予定の皆さんは熱心に練習に励んで

法要を目前にひかえ、

結衆出勤

今なお残る差別について話さ

っているということを共通理解

そうすれば、

1 年以降 とまとめられました。 講演後には、

研修会となりました。 る活発な質疑応答があり、 参加者と齊藤師によ 充実した

> わせくださ す。 () でもご参加 いただけま にお問い合 お気軽

それが変わってい



報恩講法要

縄別院本堂に 午前10時より沖 宗祖親鸞聖

区から永井慶子さん、 佐々木龍三輪番の導師により修行 に出勤いただきました。 ました。列衆には昨年同様、 八報恩講法要を 竹永廣子さん また内陣に 大阪教 つつ、

月 26 日

 $\widehat{\mathbb{H}}$

られま

いものです」

とお話し

しされまり

お斎

お昼には、

共々にお念仏を喜ばせていただきま 本願寺第3代宗主の覚如上人による しょう」と挨拶がありま えを伝えてくださったご恩に感謝し、 法要では「広文類作法」をお勤めし、 生涯を通して浄土真宗のみ教 が拝読されました。続いて 「親鸞聖人のご苦労を偲び

ご法話

齊藤真師にご法話をいただきました。 こでもどんな時でも、この私に寄り 前日の実践運動推進研修会に引き 熊本教区合志組光尊寺住職の ださっています。 「阿弥陀さまはいつでもど お心を暮らしの中 仏さまの

上)法要の様子

竹永さん (左)

中右)列衆の永井さん(右)、

中左) ご法話をされる齊藤師

だき、ご縁をいた だきながらの日暮 に味わわせていた

親鸞聖人のご遺徳を 偲び、お斎を いただく







の皆さんと一緒にお斎をいただきま 沖縄別院では皆さまのご参拝を 大変ありがたいご縁となりま 今年も多くのご参拝をいただ ご講師、 出勤・ご参拝

は、ご門徒の大丸克子さんが仏華を

続き、

下) 挨拶をする佐々木輪番

らしを大事にした



お斎では、沖縄別院責任役員の 大城貴代子さんが、お手製のぜ んざいを振る舞ってくださった

